

2016年1月15日
博報堂 新しい大人文化研究所

新大人研レポート No.23 シニアから新大人へ、新型50・60代に。 その⑦

新しい大人世代、依然として続く「夫婦すれ違い」

- ・女性の4人に1人は、生まれ変わったらできれば別の方と一緒したい、と思っている。「生まれ変わっても現在の配偶者・パートナーと一緒にになりたいか」は「なりたい」男性が46.8%、女性は39.6%。「できればなりたくない」男性は13.1%、女性は27.9%。
- ・2013年調査とほぼ同様の結果であり、依然として「夫婦すれ違い」は続いている。
- ・定年退職した60代男性には「夫婦の歩み寄り」行動もみられるが、妻とのギャップはまだあり「夫の片思い」状況といえる。

博報堂新しい大人文化研究所では、40～60代を“新しい大人世代”と呼び、調査研究を行っています。調査結果を見ると、40～60代の変化は、さらに本格感を増しています。新大人研レポート2012～13年は「絶滅!?する中高年—“新しい大人世代の登場”」、2013～14年は「いま高齢社会は“新しい大人社会”へと大きく変化」でした。2015年はあらためて生活者の変化に注目して『シニアから新大人へ』。自分たちは従来の50・60代とは違うという意識が高まっています。40代も含めて、単なる「若々しさ」だけでなく多方面での新たな兆しが見えてきました。今回のシリーズでは、消費にも大きな影響を与えるその生活者の意識変化を明らかにして行きます。

今回の調査結果から、新しい大人の夫婦関係は依然として「夫の片思い」傾向にあるものの、60代からは夫婦の時間が始まり、「歩み寄り」がみられることが分かりました。

「生まれ変わっても現在の配偶者・パートナーと一緒にになりたいか」は男性は「そう思う」人が46.8%と半数近くいるにも関わらず、女性は27.9%と4人にひとりが「そう思わない」と感じています。2013年調査でも「なりたい」は男性50.2%、女性は38.4%。「できればなりたくない」男性は13.7%女性は27.6%で、依然としてすれ違い傾向は続いています。また、女性の68.2%が「夫にがっかりさせられた経験がある」と回答していることからも、女性は夫に対してシビアな目を向けており、「夫婦すれ違い」状況を作る一因となっているようです。

一方で「配偶者・パートナーとの時間で増えたもの」を聞いてみると、60代団塊世代からは、「食事」、「旅行」、「会話」をはじめとして夫婦の時間が増えています。ただし、男性の方が女性に比べて「増えている」と回答する人が多く、やはり夫の「片思い」といえそうです。とはいえ、新しい大人世代の夫婦共通の趣味は1位「食べ歩き」、2位「映画鑑賞」と、恋愛結婚世代らしく、かつてデートでしていたことを今も2人で楽しんでおり、歩み寄りの姿勢がみえてきます。

■40~60代は依然「夫婦すれ違い」

「生まれ変わっても現在の配偶者・パートナーと一緒にになりたいか」は「なりたい」男性が46.8%、「できればなりたくない」女性が27.9%、と女性の4人に1人が「生まれ変わったらできれば別の人と一緒にになりたい」と答えています。2013年調査でも男性の「なりたい」は50.2%、「できればなりたくない」女性は27.6%で、相変わらず「夫婦すれ違い」状況にあります。

Q.あなたは、生まれ変わっても現在の配偶者・パートナーと一緒にになりたいですか。

			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない (%)	そう思う+ややそう思 う計 (%)	そう思わない+あま りそう思わない計 (%)
全体	1,970		17.0	26.2	36.2	9.4	11.1	43.2	20.5
性	男性計	975	16.9	29.9	40.0	5.4	7.7	46.8	13.1
	女性計	995	17.1	22.5	32.6	13.4	14.5	39.6	27.9
性 × 年代	60代	375	18.7	33.9	36.8	5.6	5.1	52.6	10.7
	50代	324	15.1	27.8	41.7	5.6	9.9	42.9	15.5
	40代	276	16.7	27.2	42.4	5.1	8.7	43.9	13.8
女性	60代	346	13.6	21.4	37.6	12.4	15.0	35.0	27.4
	50代	336	16.1	22.3	32.1	14.0	15.5	38.4	29.5
	40代	313	22.0	24.0	27.5	13.7	12.8	46.0	26.5

■女性は7割近くが夫に「がっかりさせられた経験」あり。

「配偶者・パートナーに『がっかりさせられた経験』」に関しては、女性が68.2%に対して、男性が58.7%。特に「大いにある」に関しては、男性11.3%に対し女性が27.7%と2倍以上になっており、女性のほうが夫に対する「がっかり度」が高いようです。結婚する前と結婚した後でイメージのギャップがあったのではないかと考えられます。

Q.あなたは、結婚当初に比べ、この数年、配偶者・パートナーに「がっかりさせられた経験」はありますか。

			大いにある	ある程度ある	それほどない	全くない (%)	大いにある+ある程度ある(%)	それほどない+全くない(%)
全体	1,970		19.6	43.9	31.0	5.5	63.5	36.5
性	男性計	975	11.3	47.4	35.5	5.8	58.7	41.3
	女性計	995	27.7	40.5	26.5	5.2	68.2	31.7
性 × 年代	60代	375	8.0	51.2	35.2	5.6	59.2	40.8
	50代	324	14.2	43.8	35.2	6.8	58.0	42.0
	40代	276	12.3	46.4	36.2	5.1	58.7	41.3
女性	60代	346	22.0	42.8	29.8	5.5	64.8	35.3
	50代	336	30.1	37.2	27.4	5.4	67.3	32.8
	40代	313	31.6	41.5	22.0	4.8	73.1	26.8

■配偶者・パートナーとの時間で増えたのは、60代では「食事」、「旅行」、「会話」。

配偶者・パートナーとの時間は、60代になると多くなります。やはり定年退職で時間ができたことが大きな理由のようです。60代男性は1位「食事」、2位「会話」、3位「旅行」、女性は1位「食事」、2位「旅行」、3位「会話」となっています。いずれも夫の方がその傾向は強く、夫の「片思い」がみえてきます。夫は定年して妻の話を十分に聞いたり、普段の買い物に付き合ったりしていると思っているようですが、妻の方は充分とは思っていないようです。

Q. 配偶者・パートナーとの時間で増えたものをお選びください。

		n	会話する時間	食事をする時間	旅行に行く時間	時間相手の話を聞く	外食をする時間	する普段時間の買い物を	するショットピングを	る散歩時間や散策をす	るど(掃除時間)家や事をする	料理をする時間	ト観劇やく時間コンサ	に行く時間美術館や展覧会	時間スポーツをする	その他	特にない	
全 体		1,970	29.5	28.9	26.2		25.6	25.6	24.3	22.7	17.0	14.5	12.0	8.8	8.3	5.5	0.2	36.6
性	男性	975	31.5	31.5	27.7	28.3	26.9	26.9	26.3	17.6	16.1	12.0	12.0	9.8	8.8	5.9	0.1	34.3
	女性	995	27.5	26.3	24.7	22.9	24.4	21.7	19.3	16.4	12.9	12.0	12.0	7.8	7.8	5.1	0.3	39.0
性 × 年代	男性	375	39.5	42.1	37.3	36.5	33.3	33.1	28.5	27.2	21.3	14.9	13.9	12.3	8.3	0.3	24.5	
	女性	324	27.5	28.1	25.3	23.8	25.3	23.8	26.5	14.8	10.8	10.8	7.4	8.6	4.3	0.0	37.3	
性 × 年代	男性	276	25.4	21.0	17.4	22.5	19.9	22.1	22.8	8.0	15.2	9.4	7.2	4.3	4.7	0.0	43.8	
	女性	346	33.2	38.7	35.8	27.5	30.1	27.5	23.7	22.8	13.0	15.6	10.4	11.0	6.4	0.3	29.2	
性 × 年代	男性	336	28.0	21.1	23.5	21.4	22.9	20.2	17.0	14.6	11.6	8.9	7.1	7.1	4.8	0.3	39.0	
	女性	313	20.8	18.2	13.7	19.5	19.8	16.9	16.9	11.2	14.1	11.2	5.8	5.1	4.2	0.3	49.8	

■夫婦共通の趣味は、「食べ歩き」、「映画館での映画鑑賞」、「散歩」。

40~60代の夫婦共通の趣味は、1位「食べ歩き」、2位「映画館での映画鑑賞」、3位「散歩」となりました。特に60代では「散歩」が男性26.4%、女性26.9%と高い数値になっています。定年退職して時間ができたため、自宅周辺での「散歩」ができるようになったことが大きな要因とみられます。

60代団塊世代からは見合い婚よりも恋愛婚が増え、「映画館での映画鑑賞」と「食べ歩き」は若い時の定番のデートコースでした。現在でも新しい大人世代の夫婦の趣味に反映されていることが分かります。

Q. 配偶者・パートナー共通の趣味をお選びください。

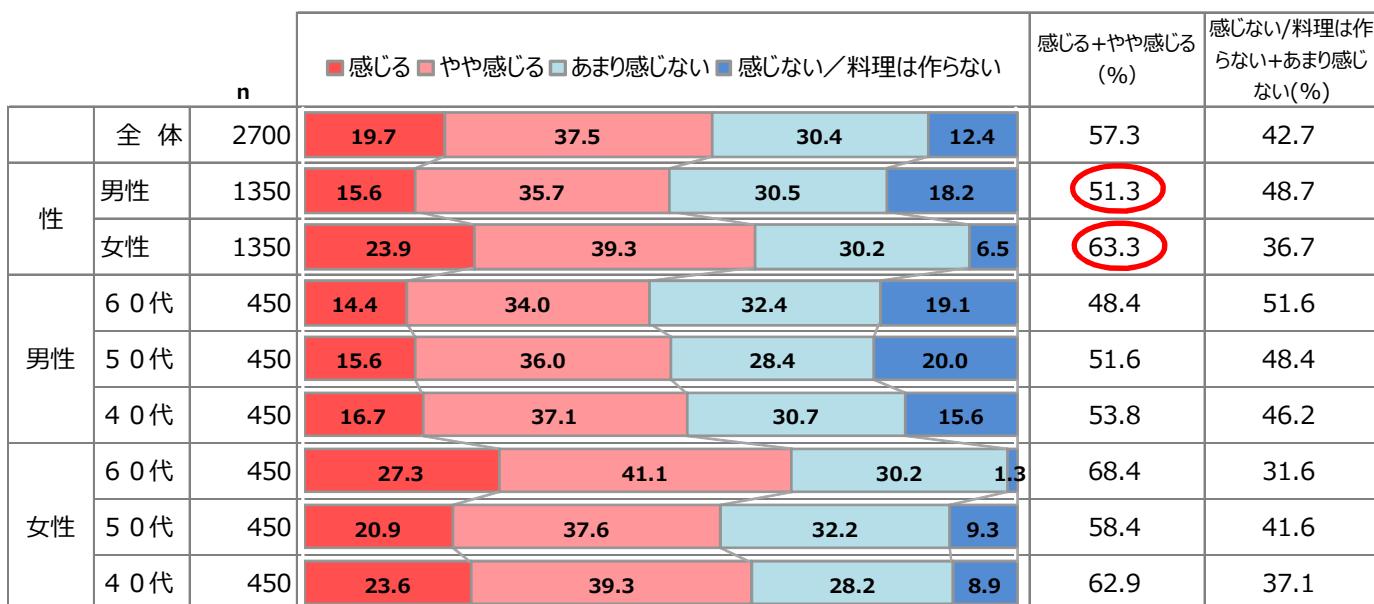
		n	食べ歩き	映画館での映画鑑賞	散歩	ネパツコントン/インター	ショットピング	DVDでの映画鑑賞	読書	ツドーラリインブルークルマ)/	テ音楽鑑賞(CDなど)/	スポート除く観戦(テレビ)	音楽鑑賞(コンサート)
全 体		1970	20.8	20.1	17.5	16.1	15.9	15.0	14.6	14.4	13.0	11.1	10.0
性	男性	975	20.9	20.2	17.7	12.4	19.6	13.4	13.6	13.7	12.3	9.6	10.7
	女性	995	20.7	20.0	17.3	19.8	12.4	16.5	15.5	15.1	13.7	12.6	9.3
性 × 年代	男性	375	22.1	24.0	26.4	12.8	18.4	13.9	16.0	14.4	10.1	10.1	13.9
	女性	324	20.4	20.1	15.7	10.8	18.8	12.3	13.0	13.9	14.8	8.6	9.6
性 × 年代	男性	276	19.9	15.2	8.3	13.8	22.1	14.1	11.2	12.7	12.3	10.1	7.6
	女性	346	18.5	18.2	26.9	21.1	9.5	11.3	16.8	13.6	10.4	15.6	10.1
性 × 年代	男性	336	16.7	24.1	11.9	19.6	10.1	18.2	14.6	16.7	14.9	12.2	9.8
	女性	313	27.5	17.6	12.5	18.5	17.9	20.4	15.0	15.0	16.0	9.6	8.0

■男性も半数は料理をつくることが楽しみ

「食事や料理をすることに楽しみを感じるか」ということに関して、男性(全体)は51.3%が感じると回答しています。もちろん女性(全体)の方が63.3%と高くなっていますが、その差は10%しかありません。今の60代団塊世代が30歳前後のときに「男の料理」が初めてブームとなり、その後も「男の料理」ブームが続く中、男性にとって料理が身近なことになっているようです。

当研究所では、夫による妻への「エスコート」を提唱してきましたが、共通の趣味や、「男の料理」など夫が妻に何かをしてあげることが新しい大人世代の歩み寄りのきっかけになっていきそうです。

Q.あなたは、食事や料理をすることに楽しみを感じていますか。



<調査概要>

調査主体：博報堂 新しい大人文化研究所

調査対象：40～60代男女

対象エリア：1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

中小都市（首都圏、熊本市・岡山市以外の政令指

定都市および岩手県・宮城県・福島県を除く）

対象者数：2,700サンプル

内1,970サンプル(現在、結婚している ※事実婚：事実上の婚姻関係にあるパートナーがいる場合を含む)

調査手法：インターネット調査

調査日時：2015年3月20日（金）～3月22日（日）

<参考資料>

博報堂 新しい大人文化研究所 過去のレポート一覧

※過去のレポートは、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.h-hope.net/>(新しい大人文化研究所WEBサイト)

<http://www.hakuhodo.co.jp/> (博報堂WEBサイト → 「ニュースリリース」 → 「調査レポート」)

【新大人研レポート “新しい大人世代” の～シリーズ】

- No.1 人生のとらえ方(2012.1.19)
- No.2 言われて嬉しい言葉(2012.2.1)
- No.3 コミュニケーション(2012.4.16)
- No.4 健康意識 (2012.5.31)
- No.5 お金に関する意識 (2012.8.27)
- No.6 社会意識 (2012.9.3)
- No.7 夫婦関係 (2013.2.26)

【新大人研レポート いま高齢社会は“新しい大人社会”へと大きく変化 シリーズ】

- No.8 その① おカネ (2013.07.31)
- No.9 その② 食 (2013.9.5)
- No.10 その③ メディア (2013.11.6)
- No.11 その④ 社会性 (2013.11.28)
- No.12 その⑤ クルマ (2013.12.25)
- No.13 その⑥ 住 (2014.2.4)
- No.14 その⑦ 旅 (2014.2.19)
- No.15 その⑧ 介護 (2014.3.28)
- No.16 その⑨ 孫 (2014.3.31)

【新大人研レポート シニアから新大人へ、新型50・60代に。シリーズ】

- No.17 その① 新大人はこれまでの同世代と違う“新型50・60代” (2015.10.8)
- No.18 その② 新大人は“新型50・60代”であり、それをリードするのは「自然体大人女子」 (2015.10.13)
- No.19 その③ 新型50・60代は「新しい大人のライフスタイル」創りへ(2015.10.23)
- No.20 その④ 新型50・60代は「介護予防」「健康向上欲求」の意識高く(2015.11.12)
- No.21 その⑤ クロスジェネレーションを求める新型50・60代(2015.11.18)
- No.22 その⑥ 新しい大人世代を象徴するのは「音楽」 (2015.12.21)

「博報堂 新しい大人文化研究所」(新大人研)について

「新大人研」は、博報堂エルダービジネス推進室(2000年設立)を前身とし、2011年2月に「エルダーナレッジ開発新しい大人文化研究所」を正式名称として設立されました。15年間のナレッジの蓄積を持っています。従来の中高年層の間で一般的であった意識やライフスタイルとは異なる、新しい40～60代が誕生しています。新大人研では、年を重ねるごとに前向きな意識を持つ、この新しい中高年生活者を「新しい大人」と名づけ、少子高齢化社会にプラスのインパクトを与える重要な存在として調査・研究しています。さらに、2015年からはクリエイティブなどの実践機能も本格的に加え、よりよい未来のためのソーシャルイノベーションを起こす社会のエンジンを目指しています。今年度は『新大人研レポート～シニアから新大人へ、新型50・60代に。』を連続シリーズで発表していく予定です。

■新大人研著作は台湾版・韓国版など海外へも

